別紙１　参考様式

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
御船町	下鶴・川内田・下梅木・上梅木	R4.3.9	R3.3.31

１　対象地区の現状

①地区内の耕地面積（a）	5,745
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	3,991
③地区内における70歳以上の農業者の耕作面積の合計	276
ⅰ　うち後継者がいる農業者の耕作面積の合計	0
ⅱ　うち後継者がいない農業者の耕作面積の合計	276
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0
（備考）	

２　対象地区の課題

若手がほとんどおらず、人手不足のため、現状維持を行っていくことも厳しい状況にある。また、経費が増加しているにも係らず、米の値段が下がる一方であるため、専業農家での生計の維持が困難な状況である。

高齢化により、農地の維持管理が困難となり、農業後継者がいないため耕作放棄地が増加している。農地の売却や貸付を検討しているものも少なくない。しかしながら、圃場の条件が悪く農地の借り手、譲渡先を見つけることも、困難な状況となっている。

３　対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

現在活用している共同作業組織を基に、水田の維持体系の強化を行うことで現状の水田を維持しつつ、圃場管理が容易な栗やタケノコなど、地域の特色を生かした作目の導入を行っていく。

（参考）中心経営体

中心経営体数	現状の耕作面積	農地の引き受けの意向
12人	881 a	881 a